

# 後志地本通信

2016. 3. 1 = 第 5 号 =

自治労北海道後志地方本部

〒044-8588 倶知安町北 1 条東 2 丁目後志総合振興局内

TEL 0136-22-6636 FAX 0136-21-2105

## 町村職総決起集会

### たたかう意思確認！！

2月26日、東京都・日比谷公会堂で「自治労第37回全国町村職総決起集会」が開かれ、全国から47県本部494単組・840人（うち女性184人）、北海道から153人（うち女性37人）、後志地本から14人（うち女性3人）が参加した。



主催者あいさつ 山木・全国町村評議長（遠軽町労連）

主催者を代表し山木・全国町村評議長は、2016国民春闘について「地方自治体で働く労働者にとっては、民間労組における春闘期の賃上げ妥結結果がベースとなり、8月の人事院勧告につながることを認識して、年間の賃金闘争のスタートと位置づけて春闘をたたかう必要がある」と情勢を述べたうえで、「町村職では『交渉を持ってない、交渉の仕方が分からない、交渉と事務折衝の区別もあいまいになっている』といった実態も報告されている。同じ思いに立って連帯し、組織全体で取り組みを進めてほしい」と強調した。さらに「今集会で学んだことも含めて、組合員全体に伝えることで、運動が構築される。

職場に労働運動を定着させるということは、組合員のところに足を運び話をする事だ。こうした運動に接することで組織強化・拡大につながる。ぜひ単組で実践してほしい」と呼びかけた。

また、政治闘争について「自治体は政治の影響を受ける職場。仕事においても地域住民に多くの意見を間近に聞いている。だからこそ、そうした意見を自治労という組織を通じながら国に訴えかけていくことができる。政治に関心を持って、私たちの行動が政治を変えるということ認識して取り組みを進めていく必要がある」と述べた。また、現在の政治状況に触れ「7月に行われる参院選では、自治労組織内『えさきたかし』さんの必勝にむけて、私たちがしっかり支えるという強固な決意を持って取り組みを進めていこう」と呼びかけた。

16春闘に向け、自治労本部川本委員長は「日銀のマイナス金利付量的・質的金融緩和による副作用がなどにより、経済状況が厳しい環境の中でのたたかいとなる。しっかりと全国各地で民間の仲間とも連携をして、自治労としての春闘をたたかってほしい」と呼びかけ、「特に町村の仲間は1年の賃金闘争の出発点として、たたかう決意を示す意味でも、その意思を固め合い取り組みを進めてほしい」と述べた。



自治労本部 川本中央執行委員長（中川町職）

（裏面に続く）

その後、自治労協力国会議員団を代表し、自治労組織内・えさきたかし参議院議員が「この間、地方公務員が50万人削減され続け、いまや3兆円を越えるお金が地方から中央に吸い上げられている。地方を切り捨てる安倍政権が『地方創生』などという言葉を使っている。ふざけるなという思いだ」と批判した。

最後に「小さな政府論から脱却して、『人を増せ、賃金が上げろ、公共サービスを拡充しろ』、という、そんな当たり前の運動が実現するような政治に変えていこう」と呼びかけあいさつした。



自治労組織内 えさきたかし参議院議員

集会終了後は、国会を経由する経路で「地方交付税削減反対」「臨時・非常勤等職員の処遇改善」「町村職員の賃金格差是正」などを訴え、デモ行進および国会請願行動を実施し、全日程を終了した。



デモ行進する後志地本参加者



参議院前での請願行動

全日程終了後は、総決起集会参加者で国会見学（参議院）と参議院会館にあるあいはらくみこ・えさきたかし両自治労組織内議員と徳永えり議員の事務所を表敬訪問し、交流を行った。



後志地方本部からの応援メッセージをえさきさんに手渡しました。



国会議事堂前で記念写真

自治労後志地方本部は、第24回参議院議員選挙に「えさきたかし」さんを組織内候補として推薦決定しています。

参議院議員

えさきたかし

つながろう。ともに声を上げ、明るい未来を咲かせよう。